

新潟中越地震 調査速報

九州大学大学院人間環境学研究院 川瀬博

調査目的： K-NET 観測点 NIG019（小千谷）の周辺被害と強震動との関係および強震動特性の生成原因についての初期情報収集

期間：2004.10.25-26

とりあえず他の方に参考になるような調査情報のみ報告します。

1)すでに何名かの方々がご報告されているように、K-NET 観測点 NIG019 の設置されている小千谷小の周辺の建物の被害はその PGA・PGV・スペクトルレベルに比して著しく小さいといわざるを得ません。市役所方面からアクセスするといくつかの木造倒壊家屋が見られます（下の写真参照）が決して多数ではありませんし、小学校の南西にある弥生団地の住宅には全壊家屋は少なくとも表面上は見当たりません（次ページ写真）。





小学校に近い慈願寺のお墓の転倒率も100%ではありません。



この違いに対して K-NET サイトの地盤特性が与えた影響を把握するために、小学校の南東側の上ノ川1丁目で半日の余震観測を実施しました。26日回収する予定です。

2) 信濃川をはさんで JR 小千谷駅前の商店街にはいくつかの被災建物があります。以下は原信スーパーの写真です。



3) 三国街道(県道 589 号線)の山体崩壊(小千谷市浦柄)現場にかかっている側道の橋脚がせん断びび割れをおこしていました。



4) 長岡市内で我々が見た中で最も被害が集中していた地域は六日市町の JR と 17 号線の間で挟まれた領域です。ざっと見た感じでは全壊率は 30% 以上はあると思います。これらは明らかに振動による被害だと思われます。面白いのは(いえ、面白いではありません) 電柱の上にあったトランスがそのまま落下していました(最後の写真)。なお連続する滝谷町・十日町はどうかと見てみましたが六日市町ほどは被害率は見られませんでした。



